

光合成測定装置利用手引き

(ver. 1, Oct. 2011)

仕様

LI-6400XT 植物光合成総合解析システム(メイワフォーシス株式会社)

6400-40 クロロフィル蛍光測定ユニット、6400-15 小葉用 (アラビドプシス用) チャンバー、6400-17 植物個体光合成測定チャンバー、6400-18 マルチコントロール RGB 光源

測定チャンバー直結の高精度ガス分析計を搭載し、炭酸ガス濃度と光環境、温度、湿度を独自制御した状態で光合成活性が測定できる理想的なポータブルシステムです。まさに小型ファイトトロンで、ステディーステート光合成ポロメータとして様々な光合成研究に活用できます。

●RGB 原色 LED 搭載の新型光源と植物個体光合成測定チャンバーにより、組換え植物の光合成活性を、個体ごとに測定することができます。変異体植物の判別や、バイオマス解析へ利用できます。

●RGB 光源により、太陽光に近い白色光の照射が可能となり、様々な光質を再現し、光合成活性の測定を行うことができます。

●クロロフィル蛍光測定チャンバーにより、同一面積・安定環境条件でのクロロフィル蛍光・光合成・蒸散同時測定が可能です。2 cm²の広い面積での測定ができます。クロロフィル蛍光と光合成の両方の自動測定機能付きです。

●アラビドプシス等の小さい葉での光合成・蒸散を測定することができます。

(測定部直径：1 cm)

http://www.meiwafosis.com/products/li6400/li6400_li6400xt.html

をご参照ください。

利用の流れ

- ① 事前打ち合わせ 実験内容、実験場所の確認と実験に必要なチャンバーの選出
- ② 申請書の提出、審査
- ③ 採択の連絡、日程調整
- ④ 貸出部品の確認
- ⑤ システムの貸出
- ⑥ システムの返却
- ⑦ 貸出部品の確認

利用する上での注意点

使用するチャンバーなどの物品を特定し、貸出前後で物品の状態を確認します。

物品の紛失、破損があった場合は、物品の買い足し、修理代等は利用者負担になります。

□利用者が遺伝子実験センターからシステムを持ち出して使用することが可能です。

費用負担

利用状況に応じ課金します。利用者の旅費・宿泊費等（学内宿泊施設あり）は原則として利用者がご負担ください。

Authorship

成果発表の際には、事前にご相談ください。また、Acknowledgements 等に以下の内容を記載されるようお願い致します。

（例） This research was supported by Japan Advanced Plant Science Network.

支援開始時期

平成 23 年 10 月下旬より支援開始の予定です。

連絡先

nonaka@gene.tsukuba.ac.jp 野中 聡子

（筑波大学 遺伝子実験センター 助教）